

令和2年度

施政方針

令和2年2月21日

富津市長 高橋 恭市

施政方針

(はじめに)

本日ここに、令和2年3月富津市議会定例会を招集し、令和2年度予算案をはじめ、各議案の御審議をお願いするに当たり、市政運営の基本となる考え方を申し上げます。

昨年9月から10月にかけて台風が次々に襲来し、特に台風15号に伴う暴風は、家屋の損壊や倒木など市民生活や産業などに大きな被害をもたらしました。1月末における住家の被害は、全壊45棟、大規模半壊37棟、半壊183棟、一部損壊を含め全体では3,000棟を超えております。更に、停電の長期化とそれに伴う断水という今までに経験のない事態が発生しました。全職員をもって災害復旧にあたりましたが、被害が広範囲に及び、甚大なことから、すべてを職員だけで対応することは非常に難しい状況でありました。

この災害に対して、区長をはじめ地域の皆さん、多くのボランティア、国、県、自治体、企業、団体の皆さんから様々な御支援をいただきました。中でも被害に遭った多くの家屋に対し、自衛隊やボランティアの方々の協力を得てブルーシートの展張を行いました。御支援いただいたすべての皆さんに改めて心から感謝申し上げます。

しかしながら、未だブルーシートが張られている家屋等が多く、私は、これらのブルーシートが無くなるまで、富津市の復興は終わらないと考えています。速やかな情報の収集と伝達、災害時の庁内体制の見直し、関係機関との連携強化などこの度の台風への対応をしっかりと検証して、今後の災害対応に生かし、安全・安心で災害に強いまちづくりに職員一丸となって取り組んでまいります。

平成28年10月に市長に就任して以来3年4か月、この間「市民の皆さんが自信を持って次世代にバトンを渡せる富津市づくり」を実現するため、様々な取組を行ってまいりました。

持続可能な行政経営を最重要課題と位置付け、「富津市経営改革プラン」に取り組み、自治体としての富津市の基礎体力の強化が図れたものと考えております。

この改革の柱に掲げた財政調整基金につきましては、期間内に目標額を達成し、

これを投入することにより、この度の災害に迅速に対応することができました。

子育てしやすいまち日本一につきましては、お母さんが子育てにおいて孤独感を味わうことが無いように「子育ての話何でも聴きます窓口」や、親子集いの場「なかよし」を開設しました。

子どもの健やかな育ちを支援することを目的として、地域交流支援センターを4月から運用します。この施設は、地域子育て支援センターと病後児保育の機能を有し、子育て世代と地域の高齢者や学生などの多様な世代との交流の場としても活用します。

また、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、第三子以降の保育料の無償化や乳幼児紙おむつ処理用ごみ袋の支給、ファミリーサポートセンター利用助成、路線バスで通学する児童への定期券購入費の補助などを行ってまいりました。

更に、近年の猛暑の中で児童・生徒が快適な環境で学習に集中できるよう、すべての小中学校の普通教室にエアコンを設置しました。

設計段階から保護者や地域の皆さんの意見を取り入れ、老朽化した天羽中学校の校舎の改築工事を進めてまいりましたが、間もなく新校舎が完成します。

この4月から千葉県立天羽高等学校に工業基礎コースが設置されます。これは、市議会や区長会、関係企業等の方々とともに、千葉県に対し要望してきたものです。この高校で学んだ多くの生徒が地元の企業に就職することを期待しています。

また、昨年10月には富津浅間山バスストップの供用を開始し、併せて無料駐車場の整備を行いました。これにより東京、横浜、千葉方面へのアクセスが向上し、より通勤や通学での利用が可能となり、定住の促進につながるものと考えています。移住促進には空き家の利用は有効な手段の一つであり、ひいては地域コミュニティの維持にもつながることから、地域にある空き家などを活用する富津市空家バンクを開設しました。

富津市は、様々な体育施設が整備され、スポーツに親しみやすい環境にあります。

市民ふれあい公園につきましては、約53ヘクタールの敷地に、野球場やテニスコート、陸上競技場などの施設が整っており、市民の健康増進とスポーツ振興に大きな役割を果たしています。これまでに、公園内のテニスコートの人工芝化や陸上競技場の色鮮やかなブルートラックへの全面改修などを行ってまいりました。

ふるさと納税は、地域経済の活性化と富津市の魅力を全国に発信する有効な手段

と考えております。寄附額は、平成 27 年度当時 2,800 万円だったものが、平成 28 年度には 2 億 6,500 万円、その後も着実に増加し、令和元年 12 月末現在では 4 億 3,400 万円となっています。

今後も事業者と連携して、返礼品の充実・拡大を図るとともに、生産者の想いやこだわりを全国に広め、富津市の特産品のブランド力を高めてまいります。

私は、「市民の皆さんが自信を持って次世代にバトンを渡せる富津市づくり」を実現していくためには、市民の皆さんがより一層、富津市に誇りや愛着を持っていただくことが大切であると考えます。市長に就任して以来、市民、各種団体の方々などとの対話が必要と考え、「ふれあい座談会」をはじめ様々な機会に市民の皆さんの御意見をお伺いしてまいりました。皆さんからいただいた言葉を真摯に受け止め、一つ一つ進んでいきたいと考えます。

市の抱える課題に対して、私たち市民一人ひとりが、自分のこととして捉え、富津市の現状や取組を「知っていただく」「理解していただく」「協力していただく」ことが、課題解決への大きな力になると考えています。

今後も市民の皆さんとの協働により、富津市のまちづくりに全力で取り組んでまいります。

それでは、令和 2 年度施政方針につきまして申し上げます。

(予算編成)

令和 2 年度の予算は、令和元年台風 15 号等による災害からの復興に全力で取り組むとともに、経営改革の基本となる「持続可能な行政経営」を念頭に、次世代への責任を果たす事業、次代の礎となる事業を着実に実行すべく編成いたしました。

その特徴は、子育て世帯への支援の充実、災害の教訓を踏まえた避難所の環境整備、道路・橋梁などのインフラの整備・長寿命化など、市民の皆さんが、安全で安心していきいきと暮らし続けるための取組に重点を置いたところであります。

一般会計は 196 億円で、対前年度比 2.3 パーセントの増となったほか、国民健康保険事業特別会計は 59 億 9,400 万円、後期高齢者医療特別会計は 6 億 6,400 万円、介護保険事業特別会計は 49 億 8,500 万円、温泉供給事業特別会計は 320 万円、全会計の総額は 312 億 4,620 万円となったところであります。

(経営改革)

平成 27 年度に策定した「富津市経営改革プラン」に基づき収支改善策に取り組んだ結果、財政指標の改善が見られるなど、一定の成果は出てきているものと考えます。

しかしながら、人口減少による財源の縮小、それに加え、高齢化の進展等による社会保障費の増加、公共施設の老朽化に伴う更新費用など多額の財政需要が見込まれる中、依然として厳しい財政運営が続くものと考えております。

経営改革の重要課題である、公共施設の再配置につきましては、平成 28 年 3 月に策定した「富津市公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設全体の再配置の方針を示す「富津市公共施設再配置推進計画」を策定しているところであります。今後は、公共施設の更新や保全に関する考え方を明確にした、個別施設計画を策定してまいります。

令和元年度末をもって閉校となる小中学校につきましては、ワークショップの開催等により、地域の意見を聴きながら閉校後の有効活用につなげてまいります。

限られた経営資源をより一層、効率的・効果的に活用し、経営改革に絶え間なく取り組むことにより、持続可能な行政経営を実現してまいります。

「ひとの創生」

私は、まち、ひと、しごとの創生のうち、まず、ひとの創生があり、まちの創生、しごとの創生へとつながると考え、市政運営に取り組んでまいりました。

そこで、始めにひとの創生につきまして申し上げます。

子育てしやすいまち日本一を実現するため、安心して子育てができ、子どもたちの笑顔があふれ、子育てが喜びとして感じられるまちづくりを目指してまいります。

そこで、結婚を希望される男女の出会いの場を提供する企業や団体に対して、その費用を助成します。また、結婚相談所につきましては、結婚の機会を望む人たちがより利用しやすい体制づくりを進めてまいります。

不妊に悩み治療を受ける方々に対して、特定不妊治療費の助成を行い、経済的負担の軽減を図ります。

妊娠期から子育て期を通して健診等の情報の一元化を図り、妊産婦と保健師との顔の見える信頼関係を築きながら、きめ細かな子育て支援サービスの提供につなげ

てまいります。

産後間もない、支援の必要な母子に対して、産後ケアサービス事業を実施し、心身のケアや育児のサポートを行います。

また、医師、保健師などの実務経験をもとに作成された「子どもノート」を、出産されたお母さんに配付します。このノートを活用して、乳幼児健康診査や母子相談を実施し、母子の健康保持、増進、健全な発育を支援します。更に、ふたご等の多胎児を妊娠されたお母さんには、1人の子と異なる出産、育児の悩みを少しでも軽減できるよう多胎児用の母子手帳「ふたご手帖」を配付します。

子どもの成長には、語りかけ等のコミュニケーションが大切であることから、4か月児健診に併せて、市民ボランティアによる読み聞かせと初めての絵本をプレゼントするブックスタート事業を実施します。この事業には、「赤ちゃんが思いがけない反応を示した。」との驚きと喜びの声などが寄せられております。

子育て世帯を支援するため、ファミリーサポートセンター利用助成、乳幼児紙おむつ処理用ごみ袋の支給、赤ちゃん休憩室事業等を実施します。

4月に開設する地域交流支援センター「カナリエ」では、子育て中の親子が気軽に訪れ、ふれあい、地域の皆さんにも御協力いただきイベントや講座を開催します。併せて多様な保育ニーズへの対応を図るため、病後児保育を実施します。

保育環境向上のため、公立保育所のすべての保育室に空調設備を設置します。

昨年10月から国が実施している幼児教育・保育の無償化に加え、第三子以降の保育料無償化及び給食副食費の補助を市独自で実施し、子育て世代の経済的負担の軽減を図ります。

学校教育につきましては、知・徳・体の調和がとれた、きめこまやかな教育を推進し、心身ともに健康で確かな学力を身につけた、「富津を愛し、富津の未来を託せる児童・生徒の育成」を図ります。

小中学校の再編に伴い、4月から天羽小学校、大佐和中学校、天羽中学校がスタートします。遠距離通学となる児童・生徒の負担を軽減するため、スクールバスを学校の日課に合わせて運行してまいります。

小学校の授業でのつまずきの解消や学習に対する意欲の向上を目指し、放課後学習教室を実施します。

新富の富津地区工業用地には、国内最大級の火力発電所や研究施設、産業機械メ

ーカーなど多くの企業が操業しています。これらの企業と連携して工場見学や職場体験を行うなど、小中学校のキャリア教育を更に充実していきます。

4月から、小学校において新しい英語教育やプログラミング教育が全面実施されます。外国人英語指導助手及び英語指導員を各学校に派遣し、教材等を効果的に活用しながら、外国語及び外国語活動指導の充実に努めます。プログラミング教育につきましては、市のICTアドバイザーの協力を得て、小学校でプログラミング教育講座を実施するなど充実に努めてまいります。

富津市の小中学生は、県内平均と比較し肥満率が高い傾向にあることから、中学校2年生を対象に糖代謝検査を実施し、糖代謝異常のある生徒の早期発見、早期治療につなげ、糖尿病等になることを予防します。

より衛生的な学校環境とするため、小中学校11校の校舎、屋内運動場及び武道場のトイレを改修します。

家庭教育支援チームの事業として、「放課後ルーム」を3か所で実施し、児童の体験活動や学習を支援するとともに、保護者が気軽に相談できる機会を増やしてまいります。

また、塾に通っていない中学3年生を対象とした受験直前の「学習サポート会」を社会教育指導員、家庭教育指導員及び市民ボランティアにより実施します。

本年は、待ちに待った東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。オリンピック聖火リレーは、来月、福島県をスタートし、全国47都道府県を巡ります。富津市では7月2日に君津大橋から青堀駅まで聖火リレーが行われます。市民の皆さんと一緒にオリンピックの機運を盛り上げるイベントにしてまいります。

市内小中学校では、福祉教育の一環として、障がい者スポーツ体験や車いす体験等を通じて障がい者への理解を深めています。千葉県は、パラリンピック4種目の会場となっています。富津市ではシッティングバレーボールを市内小中学校の小学4年生から中学3年生が観戦する予定です。パラリンピックは、「人間の可能性の祭典」と言われ、世界各国から集う障がいのある人が果敢に挑戦する姿を通して、子どもたちのスポーツや障がい者への理解が更に深まることを期待しています。

次代を担う子どもたちの心身がより逞しく健やかに成長できるよう学校教育の充実に努めてまいります。

次に、健康都市 富津市の実現につきまして申し上げます。

生涯を通じ、いつまでも住み慣れた地域で、からだも心も元気に、いきいきと暮らし続けることは、私たちにとって最大の目標であり、喜びであります。

平均寿命が延びる中、自分らしく健康的な社会生活を送り、健康寿命を延ばしていくことが重要であると考えます。

そこで、健康寿命の延伸を妨げる要因である、脳卒中や心筋梗塞、慢性腎臓病等の生活習慣病の発症予防や重症化予防のために、健診受診の推進や保健指導を通じて健康に対する意識を高め、適度な運動や睡眠、バランスの取れた食事の大切さを伝えてまいります。

自らの健康状態を把握し、食生活等を見直すことで様々な生活習慣病のリスクを軽減するため、国保特定健診や18歳から39歳までの方を対象とした若年健診の集団健診に塩分摂取量を分かりやすく数値化する検査を追加します。

がん検診につきましては、早期発見、早期治療につなげるため、年齢により子宮がん及び乳がん検診を無料で受診できるクーポン券を配付します。胃・肺・大腸の3つのがん検診をすべて受診した方には奨励品を進呈し、受診率の向上を図ります。

更に、いつまでも自分の歯で食べられる喜びを保つため、成人歯科健康診査に加え、歯科衛生士による虫歯予防や歯周病予防指導を各種健診時や保育所、小学校等で実施します。

風しんのまん延や先天性風しん症候群の発生を防ぐため、これまで公的な予防接種を受ける機会がなかった男性を対象とした、抗体検査や予防接種が無料で受けられるクーポン券の発行、妊娠を希望する女性及びそのパートナーを対象とした予防接種費用の一部助成を行います。

白血病などの重篤な血液疾患には、骨髄等の移植が有効な手段ですが、未だドナー登録が十分ではありません。事業所の理解を得るための啓発活動を実施するとともに、骨髄等提供者本人及びドナー休暇を与えた事業所に助成金を交付します。更に、骨髄移植等を受け免疫を失った方に対し、予防接種の費用を助成します。

熱中症や食中毒、感染症の流行などに関する情報収集に努め、予防に向けた啓発を実施するとともに、有事の際に的確な対応ができるよう、関係機関との連携を図ってまいります。

市民一人ひとりが健康な生活を送る上で、地域における医療体制の充実は必要不可欠です。市民がいつでも安心して医療が受けられるよう、夜間及び休日の診療体

制を維持するとともに、地域医療の核である君津中央病院企業団の運営に必要な経費を負担します。

「まちの創生」

次に、まちの創生につきまして申し上げます。

まちの創生は、住み続けたい、住んでみたいと感じられる魅力あふれるまちを創ることです。

富津市には、私たちの生活を豊かにしてくれるものがあふれています。富津市が持っている、他の自治体に負けない豊かな資源を様々な形で発信し続けることで、より一層多くの人に集っていただき、人と人とのつながりが温かく、そして人に優しい、魅力あふれる、ふるさと富津市のまちづくりを行ってまいります。

移住・定住を促進するため、富津市空家バンクの登録物件数の増加に取り組むとともに、契約が成立した登録物件のリフォーム費用を補助してまいります。

市内公共交通につきましては、公共交通空白地域における、地域住民が主体となった移動手段に対し支援してまいります。運転免許証を保有していない高齢者等を対象とした、タクシー運賃助成事業につきましては、助成対象者の拡充など制度の充実を図ります。今後も現状を分析し、生活利便性の維持・向上を図るため、持続可能な公共交通網の形成を目指します。

富津浅間山バスストップが供用を開始し、東京、横浜、千葉方面へのアクセスが向上しました。更なる高速バスの利用促進を図ります。

道路整備につきましては、市民の利便性の向上を目指し、市道小久保岩瀬線、市道浅間山線、市道下飯野線などの整備を進めてまいります。加えて本郷バイパスの早期完成並びに神明山1号線の早期着工に向け、千葉県に働きかけてまいります。また、通行の安全を確保するため、岩瀬地先の海岸橋他4か所の橋梁と梨沢地区のトンネル4か所の補修工事を実施します。

土地に関する境界紛争などのトラブルを未然に防止し、効率的な土地利用や災害復旧の迅速化、公共事業の円滑な推進やコスト縮減のため、地籍調査を推進します。

消防体制につきましては、地域防災の要である消防団員の確保に努めます。また、各種災害に対応した消防活動に関する訓練を通じて消防本部と消防団の連携を強化し、地域防災力の向上を図り災害対応に万全を期します。

今後予想される台風災害や大規模地震などによる人的被害を最少化するには、「自らの命は自ら守る」、「自分達のまちは地域みんなで守る」という意識を市民一人ひとりが持つことが重要です。防災に対する理解を深めていただくため、防災講演会や出前講座、地域の特性に応じた防災訓練を実施します。地域の防災の核となる「災害対策コーディネーター」を育成し、自主防災組織の設立及び強化につなげ、災害に強いまちづくりを目指します。

昨年、市内においては交通事故が109件発生し、そのうち高齢者が関わる事故が52件と約半数となっています。警察署及び関係機関との連携を強化し、高齢者向けの交通安全教室の開催やドライバー向けの啓発活動を推進し、交通安全対策に取り組みます。

防犯対策につきましては、手口が巧妙化している電話de詐欺が増加していることから、警察署や自主防犯団体等と連携し、様々な広報啓発活動を行うことにより、市民の防犯意識を一層高め、犯罪抑止につなげてまいります。新たに設立した自主防犯団体には資器材を支給します。また、犯罪抑止対策として、子ども、女性、高齢者及び障がい者に配慮し、死角となる危険箇所の点検・改善などを行います。

市民参加による活力あるまちづくりを推進するため、市民活動を積極的に支援します。市民活動災害補償制度に継続加入し、ボランティアなどの市民活動を支えます。また、市民活動推進物品貸出制度は、令和元年12月現在で14件と昨年度の10件から貸出件数は増えています。今後も貸出物品を充実し、地域等で行う活動に役立てていただけるよう努めます。更に、市民活動団体登録制度は、令和元年12月現在で5件の登録があります。市民活動への参加機会の拡充と市民活動団体のネットワークを築くため、登録団体の増加に努め情報を積極的に発信していきます。

市民の利便性及び収納率の向上のため、市税の納付がコンビニや銀行窓口に出向かず、24時間支払いができるよう4月からスマートフォンアプリ「LINE（ライン）」の「LINE Pay（ラインペイ）請求書支払い」を導入します。また、軽自動車税を口座振替により納付されている方に対して、車検時必要となる軽自動車税納税証明書の有効期限を、翌年度の5月末から6月20日に延長し、利便性の向上を図ります。

市民ふれあい公園につきましては、今後進展する老朽化に対する安全対策の強化及び修繕・更新費用の平準化を図るため、計画的な施設の維持管理、更新を行い利便性の向上を図ってまいります。

現在進めている（仮称）木更津市火葬場整備運営事業及び（仮称）第2期君津地域広域廃棄物処理事業につきましては、住民サービスを維持しつつ、新しい行政ニーズに対応していくための方法のひとつと考えます。今後も関係自治体と連携して進めてまいります。

昨年、4月から取り組みを始めた「富津市ごみダイエット作戦100」につきましては、災害等の影響もあり、現状において目標の達成は難しい状況です。ごみの減量は、環境への負荷を軽減し、処理経費の軽減にもつながることから、市民の皆さんや事業者とともに目標達成のため、「富津市ごみダイエット作戦100」に取り組むことによりごみの減量化につなげてまいります。

次に、障がい福祉につきましては、富津市障害者総合支援協議会等の関係団体との連携強化を図りながら、障がいがあってもその人らしく、ともにいきいきと暮らせるまちの実現に向け、様々な障害福祉サービスの提供に努めてまいります。

発達障がい児の早期発見・早期療育につなげるため、家族などからの相談に応じるほか、臨床心理士や言語聴覚士による保育所や学校等への巡回療育相談等を実施します。また、児童・高齢者・障がい者への虐待とDV等への更なる対応の推進に努めるとともに、福祉に関する様々な相談のワンストップ窓口につきまして、充実を図ってまいります。

高齢者福祉につきましては、高齢者が地域でいきいきと輝くまちの実現に向け、「富津市いきいき百歳体操」などの介護予防事業、相談支援事業、権利擁護事業等を実施し、地域包括ケアシステムの更なる深化・推進を図ってまいります。また、高齢者がフレイル状態に陥ることを予防するために、咀嚼や飲み込みの訓練法などを指導する口腔教室や、栄養改善のための食生活教室を開催してまいります。

高齢者や障がいのある人たちが、地域で安全に安心して暮らせるよう、民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会、民間事業者等と連携し、声かけや安否確認などの日常の見守り支援を行い、要援護者の状況を把握することで、孤独死の防止や災害時の支援などにつなげてまいります。

生活困窮者への自立支援につきましては、生活困窮者自立相談支援事業を実施し、個々のニーズに対応した支援をしてまいります。また、生活困窮世帯の子どもが安心して集まり、学習ができる子どもの学習支援事業の対象者を中学生に加え、小学校4年生から実施してまいります。新たに被保護者健康管理支援事業を実施するこ

とにより、生活保護受給者の生活の質の向上と健康づくりにつなげてまいります。

国民健康保険につきましては、被保険者の健康保持・増進のため、国保特定健診の受診率及び特定保健指導の実施率の向上、更に、ジェネリック医薬品の推進等による医療費の適正化、国民健康保険税の徴収率の向上を図り、事業の健全化に努めてまいります。また、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、18歳以下の被保険者に係る国民健康保険税均等割額を減額します。

後期高齢者医療保険につきましては、きめ細かく制度の周知を行い、業務を適正に行ってまいります。

「しごとの創生」

次に、しごとの創生につきまして申し上げます。

「富津市と言えば」と、今、都心でインタビューをしたらどのような答えが返ってくるでしょうか。「海苔」「アナゴ」「黄金アジ」「メロン」、人によっては「竹岡式ラーメン」「マザー牧場」「鋸山」「潮干狩り」という答えが返ってくるかもしれません。これらは多くの人に高く評価される富津市の大きな魅力であり、ブランドの一つであります。

都心から1時間というアクセスの良さもあり、富津市にはまだまだ多くの人に魅力を感じていただける可能性があります。これらのブランドに磨きをかけるとともに、新たな富津市の魅力を発信することで、富津市のしごとを守り、生み出し、発展させてまいります。

ふるさとふつつ応援寄附につきましては、返礼品協賛事業者をはじめ、関係者が一丸となり返礼品のPRに努め、これまで全国の皆さんからたくさんの応援をいただいています。今後も返礼品の充実、拡大を図るとともに、生産者の思いやこだわりを全国に広め、富津市の特産品のブランド力を高めてまいります。

農業につきましては、従事者の高齢化と減少が進む中、次世代の農業を支える新たな担い手の確保・育成が課題となっています。また、有害鳥獣による農作物被害も発生しています。このため、地域農業の将来設計図である人・農地プランの実質化を推進し、更なる農地の利用集積、集約化を図るとともに、次代を担う青年就農者の経営確立の支援、地域農業の担い手の育成・確保のために、農業機械・施設の導入支援を行ってまいります。国土保全、水源かん養、自然環境を維持するなど、

農業・農村の多面的機能の維持・発揮を図るため、地域の共同活動や生産条件の不利な中山間地域等における農業生産活動を支援します。

有害鳥獣対策につきましては、近年では農産物被害に留まらず、生活環境にまで被害が増加していることから建設経済部に鳥獣対策室を新設し対応してまいります。農作物の被害対策として引き続き、捕獲わなの増設、侵入防止柵の設置範囲の拡大を図ってまいります。捕獲した有害獣の処分が大きな課題となっていることから、その処理方法につきまして民間事業者との連携も含め検討してまいります。

水産業につきましては、従事者の高齢化や後継者の漁業離れなどの問題が発生しています。海苔養殖においては、生産者の労力や負担軽減を図るため、漁業者に代わり漁業協同組合が運営する共同加工施設の整備につきまして支援し、海苔の品質向上や経営の安定につなげてまいります。

竹岡漁港の荷さばき施設の建設を支援するとともに、市場機能の集約化を推進し、拠点化させることで運営の効率化を図ります。また、併せて自動製氷施設の整備を支援することで、水産物の高鮮度化により魚価の向上を図り、漁船漁業者の所得の向上につなげてまいります。

大貫漁港の機能保全工事を実施し、安全で安定した水産物基盤施設としての漁港機能を維持します。

水産業多面的機能発揮対策事業として、環境や生態系の保全、海の安全や安心の確保など、水産業や漁村が有する多面的な機能の発揮を図るため、漁業者等が行う地域の活動を支援します。

商工振興につきましては、中小企業者及び創業者に対して、事業に要する資金を円滑に調達できるよう、運転資金や設備資金の貸付融資及び利子補給を千葉県信用保証協会や市内の取扱金融機関と連携し行います。

日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金融資を受けた事業者に対する利子補給を行います。

国の認定を受けた創業支援事業計画に基づく創業支援の取組を、富津市商工会や千葉県信用保証協会と連携し進めてまいります。

更に、事業承継セミナーや後継者育成セミナーなど、事業者や後継者への継続的なサポートを富津市商工会の経営指導員や専門家の指導及び支援をいただきながら行ってまいります。

富津市には、豊かな観光資源のもと多くの観光客が訪れています。近年、自然とスポーツを融合させた取組として、鋸山トレイルランレース、富津岬周辺を会場として行われるオープンウォータースイムやアクアスロン大会など多くのスポーツイベントが開催されています。

明治から大正にかけて、首都防衛のために富津岬沖に建設された第二海堡への「富津発」上陸ツアーが本格的にスタートしました。このツアーの付加価値を高めるため、千葉県立富津公園内に残されている軍事的遺構を紹介し、富津岬の歴史的背景を再認識できる看板を設置します。これらの遺構と市内観光地の周遊を組み合わせたツアーの実現を旅行事業者に働きかけ、新たな観光メニューとなるよう取り組んでまいります。

この度、鋸山の日本遺産への認定を目指し、鋸南町とともに文化庁に申請しました。また、鋸山につきましては、日本寺エリアが県の名勝の指定となっていることから、石切場跡までの範囲拡大、更に国指定名勝への格上げに取り組んでまいります。

今後とも多くの人に訪れていただけるよう、観光資源の掘り起こしや地域の魅力を発信し、交流人口の増加を図ってまいります。

(むすび)

以上、私の考え、また、それに基づく施策を申し上げてまいりました。

私は、これまで市の施策を市民の皆さんに「知っていただく」「理解していただく」「協力していただく」ことが大切であると申し上げてきました。

本年は、更に、情報発信を強化することによって、市民の皆さんに一層の理解を深めていただき、その上に立って活力ある富津市づくりを推進します。

自信を持って次世代にバトンを渡すため、課題から目をそらすことなくひとつひとつの施策を着実に実行し、市民の皆さんをはじめ、富津市に関係する多くの皆さん一人ひとりが誇りや愛着を持っていただけるような富津市をつくってまいります。

富津市に笑顔があふれる1年になるように、市民の皆さん並びに議員各位の、より一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。